

## はじめに

北谷城の調査も2年目になった。作業能率のためとは言いながら、飛行機で現地に飛び、完全冷房の、そして二重窓で防音した施設で寝起きし、賄い付きで暮らし、自動車で行きながら実習調査を行った。教育長、社会教育課長をはじめ、関係職員御一同の御配慮の賜物である。よい条件のもとで発掘実習を開講できたことを心から御礼申し上げたい。この実習が文化財を処置するうえで役に立った度合いと、上記の御配慮を勘案すると、一体どちらに衡が上がるのか、内心忸怩たらざるを得ない。

今年の実習生は数が少なかった。本来の実習生は三年生3名、二年生6名であった。これに指導実習の院生全員が加わっても12名である。実習調査隊としては過少である。これに四年生3名が卒論作りを一時中断して参加してくれた。勉強のためでもあろうが、事情を察してくれたからでもあるらしい。私はひそかに謝意を抱いている。二、三年生はその謝意を、間もなく進級してくる新二年生の指導に振り向けて欲しい。

実習の内容は、昨年度の石組みの調査に比べると、遙かに理解しやすいものであった。測量・実測・層序・遺構・所見・報告・討論等、むしろ苦渋の度合いが少なく、甚ださっぱりとしていたように思う。同じ齢の頃の自分が苦しんでいたほどに人が苦しんでいないと言うことは、何となく癪にさわるものである。昔は足の裏を鍛えてそれを靴の代わりにして走り回り、馬糧を食って垂れ流しながら穴を掘ったとか、どだい発掘などできる者がろくすっぽ居らず、お互い同士本気になって喧嘩しながら仕事をしたために層序の記録がばらばらのままだったとか、車など無いのでリヤカーで数里の道を往復して運んだ何トンもの資料が、結局どの地点から出たのか判らず仕舞いであったとか……………。

しかし平穩に和やかに、苦痛少なく能率よく学べるのは、やはりいいことだ。その分だけ早く偉くなるに違いないからだ。だが、わだかまりなく事が流れてゆくのは、そのこともなさによって問題が隠れてしまいがちである。例えば今年度のこの実習調査報告書は随分早々に出来上がったけれど、これは仕事の角目々々に、山下君が上手に肩を入れ続けてくれたからだ。屋内実習、つまり室内調査と報告書の作成の仕事は、幾つもの作業が前後左右に生じて錯綜を極めるのが特色のひとつで、それを一本に撚り上げるのは容易ではない。個々の作業はむしろ単純である。この点を学んでくれたのだろうか……………。指導実習生つまり大学院生たちの、特に心して欲しい点である。

1992年3月20日

白木原 和美

## 例 言

○本書は熊本大学文学部考古学研究室による沖縄県中頭郡北谷町字大村城原の北谷城（チャタングスク）の発掘調査の概要である。

○発掘調査は北谷町教育委員会の委嘱により研究室の実習調査として実施された。

○発掘調査は1991年7月10日に開始され、7月21日まで計12日間にわたって行われた。

○調査および整理においては以下の方々に御協力・御指導いただいた。

梅光女学院大学 木下尚子助教授（貝鑑定）

国立歴史民俗博物館 西本豊弘助教授（獣骨鑑定）

熊本大学地学教室 高橋俊正教授（石器石材鑑定）

宜野湾市教育委員会（貝鑑定）

○本書の編集は山下が行い、執筆者は各文末に記した。

○調査および整理参加者は以下のとおりである。

白木原和美 甲元眞之 山下志保

秦 憲二 園田淳美 松村真紀子（以上大学院1年次生）

市川浩文 田中聡一 水上綾子（以上4年次生）

池田昌一郎 隈本直子 高橋 誠（以上3年次生）

岩寄紀子 岩谷史記 蔵富士寛 原田範昭 棕梨浩子 矢野希久代（以上2年次生）

## 本文目次

一、環境と立地	1
二、調査の目的と経過	8
三、調査の概要	
1. 層序	10
2. 遺構	11
四、出土遺物	
1. 磁器	24
2. 陶器および土器	29
3. 貨銭	32
4. 鉄製品	32
5. 石器	33
6. 貝製品	33
7. 自然遺物	35
五、まとめ	37

# 挿図・図版目次

## 挿図目次

第1図	沖縄本島「初期グスク」分布図	2～3
第2図	地形測量図	6～7
第3図	土層断面図	12～13
第4図	遺構掘り上がり図	14～15
第5図	遺構配置図(1) 第2期の遺構	18～19
第6図	遺構配置図(2) その他の遺構 柱穴群	20～21
第7図	遺構配置図(3) その他の遺構 土壇群	22～23
第8図	出土遺物実測図(1)	26
第9図	出土遺物実測図(2)	28
第10図	出土遺物実測図(3)	30
第11図	出土遺物実測図(4)	34
第12図	出土遺物実測図(5)	35

## 表目次

第1表	沖縄本島「初期グスク」一覧表	4
第2表	出土自然遺物一覧表(1)	40
第3表	出土自然遺物一覧表(2)	41
第4表	ブロック・サンプリング一覧表	42

## 図版目次

1上	遠景(南東より)	7上	C'・D'-85～87グリッド 掘り上がり
下	近景(南より)	下	C'-87グリッドピット6 掘り上がり
2上	W・X-85グリッド西壁断面	8上	Y-85グリッド 遺物出土状況
下	W・X-86グリッド西壁断面	下	C'・D'-85グリッド西壁サブ・トレンチ 遺物出土状況
3上	Y～A'-86グリッド西壁断面	9	石垣現状
下	C'・D'-86グリッド西壁断面	10	石垣現状
4上	W～Y-85・86、Y-87グリッド 掘り上がり	11	石垣現状
下	Z・A'-85・86グリッド 掘り上がり	12	石垣現状
5上	A'-86グリッド土壇① 貨銭出土状況	13	出土磁器(縮尺1/2.5)
下	Y-85グリッド土壇⑤ 獣骨出土状況	14上	出土陶磁器(縮尺1/2.5)
6上	A'-86グリッドピット4 掘り上がり	下	出土土器・陶磁器(縮尺1/2.5)
下	A'-86グリッドピット3 掘り上がり	15上	出土貨銭(縮尺1/1)・石器・鉄製品(縮尺1/2)
		下	出土具類(縮尺1/2)